スライド説明図１(増額の場合)

基準日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ③ |  | ⑤ |
| 　　　　　　　　　　　 |  | 　④ |  |  |  | ⑥ |  |  |
| 　① |  |
| ② |
|  |  |
|  ⑦　(②＋⑤－⑥)×1.0% |
| ⑧ スライド額 |

１　スライド説明図の番号説明

・太枠(①＋②)は当初請負代金額を示す。

① 基準日の当初請負代金額の出来高分

　　② 基準日の当初請負代金額の残工事分

　　③ 出来高に加算すべき変更分(基準日時点で契約に反映されていない。)

　　④ 当初請負代金額から減ずべき変更分(基準日時点で契約に反映されていない。)

　　⑤ 残工事に予想される増額分(基準日時点で契約に反映されていない。)

　　⑥ 残工事に予想される減額分(基準日時点で契約に反映されていない。)

　　⑦ 残工事(②＋⑤－⑥)×1.0%相当額

　　⑧ スライドに伴う請負代金額の増額分

　　⑦＋⑧ 残工事(②＋⑤－⑥)の賃金・物価変動に伴う増額分(受注者が負担する額を含む)

２　スライド変更の手順

(1)変更増(③と⑤)及び変更減(④と⑥)を加味した設計変更を行う。

　(2)残工事費(②＋⑤－⑥)の賃金・物価の変動前の金額を算出する。

　(3)残工事費(②＋⑤－⑥)の賃金・物価の変動後の金額を算出する。

　※　(1)～(2)の額を算出する場合の共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費率(以下「諸経費率」)は、起工時の率（基準日以前に契約変更を実施している場合は、直前の変更契約における率）とし、(3)の額を算出する場合の諸経費率は、基準日時点を使う。

　(4)上記(2)と上記(3)の差額(⑦＋⑧)を算出する。

　(5)差額(⑦＋⑧)から残工事費(②＋⑤－⑥)の1.0％に相当する金額⑦を控除し、スライドに伴う請負代金額の増額⑧を算出する。

　(6)⑧が０円又はマイナス金額の場合、スライドに伴う請負代金額の増額を行わない。

スライド説明図２(減額の場合)

基準日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ③ |  | ⑤ |
| 　　　　　　　　　　　 |  | 　④ |  |  |  | ⑥ |  |  |
| 　① |  |
| ② |
| ⑦ | (②＋⑤－⑥)×1.0% |
|  | ⑧　 | スライド額 |

１　スライド説明図の番号説明

・太枠(①＋②)は当初請負代金額を示す。

① 基準日の当初請負代金額の出来高分

　　② 基準日の当初請負代金額の残工事分

　　③ 出来高に加算すべき変更分(基準日時点で契約に反映されていない。)

　　④ 当初請負代金額から減ずべき変更分(基準日時点で契約に反映されていない。)

　　⑤ 残工事に予想される増額分(基準日時点で契約に反映されていない。)

　　⑥ 残工事に予想される減額分(基準日時点で契約に反映されていない。)

　　⑦＋⑧　スライドによる残工事費の減額

 　 ⑦ (変動前)残工事費の1.0%相当額　(②＋⑤－⑥)×1.0%相当額

　　⑧ スライドに伴う請負代金額の減額分

２　スライド変更の手順

(1)変更増(③と⑤)及び変更減(④と⑥)を加味した設計変更を行う。

　(2)残工事費(②＋⑤－⑥)の賃金・物価の変動前の金額を算出する。

　(3)残工事費(②＋⑤－⑥)の賃金・物価の変動後の金額を算出する。

　※　(1)～(2)の額を算出する場合の共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費率(以下「諸経費率」)は、起工時の率（基準日以前に契約変更を実施している場合は、直前の変更契約における率）とし、(3)の額を算出する場合の諸経費率は、基準日時点を使う。

　(4)上記(2)と上記(3)の差額(⑦＋⑧)を算出する。

　(5)差額(⑦＋⑧)から(変動前)残工事費(②＋⑤－⑥)の1.0％に相当する金額⑦を控除し、スライドに伴う請負代金額の減額⑧を算出する。

　(6)⑧が０円又はマイナス金額の場合、スライドに伴う請負代金額の減額を行わない。

様式１－１(受注者→発注者)　変更請求書

　○○年○○月○○日

請負代金額変更請求書

(宛先)

　発注者

 受注者

　住　所　　○○市○○○－○

　会社名　　□□□建設㈱

　氏　名　　代表取締役　□□　○○

○○年○月○○日付けで契約した下記工事については、埼玉県建設工事標準請負契約約款第２６条第６項の規定に基づき請負代金額の変更を請求します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 工 事 名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 　主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 工　　期 | 　　　○○年○○月○○日　から　　○○年○○月○○日　まで |
| 請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |
| 希望基準日 | 　　　○○年○○月○○日 |
| 変更請求概算額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |
| 概算残工事請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |
| 　概算残工事請負代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来高部分に相応する請負代金額を控除した額 |

※　今回の請求は、あくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題はない。

※　別紙「概算スライド額調書」（様式１－３）を添付する。

様式１－２(発注者→受注者)　変更請求書

　○○年○○月○○日

請負代金額変更請求書

　□□□建設㈱

　代表取締役　□□　○○　　様

発注者　　　　　　　　　　　　印

○○年○月○○日付けで契約した下記工事については、埼玉県建設工事標準請負契約約款第２６条第６項の規定に基づき請負代金額の変更を請求します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 工 事 名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 　主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 工　　期 | 　　　○○年○○月○○日　から　　○○年○○月○○日　まで |
| 請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |
| 希望基準日 | 　　　○○年○○月○○日 |
| 変更請求概算額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |
| 概算残工事請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |
| 　概算残工事請負代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来高部分に相応する請負代金額を控除した額 |

※　今回の請求は、あくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題はない。

※　別紙「概算スライド額調書」（様式１－３）を添付する。

様式１－３　概算スライド額調書

概算スライド額調書

|  |  |
| --- | --- |
| 工事名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 契約日 | ○○年○○月○○日 |
| 工　期 | ○○年○○月○○日～○○年○○月○○日まで |
| 請負代金額 | 金　○○○, ○○○, ○○○円 |
| 出来高率 | 　　　　　　　　　　　　　％ |
| 出来高金額 | 金　○○○, ○○○, ○○○円 |
| 変動前残工事金額（ｐ１） | 金　○○○, ○○○, ○○○円 |
| 変動後残工事金額（ｐ２） | 金　○○○, ○○○, ○○○円 |

○変更請求概算額が増額の場合（税込）

　　　　　　　　　＝　　ｐ２　　－　　ｐ１　　－（　　ｐ１　　×１／１００）

　　　　　　　　　＝　　　　　　－　　　　　　－（　　　　　　×１／１００）

　　　　　　　　　＝　　　　　　－

　　　　　　　　　＝

　ｐ１: 変動前残工事金額（税込）

　　　（請負代金額から基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額）

　ｐ２：変動後残工事金額（税込）

　　　（変動後(基準日)の賃金又は物価等を基礎として算出した（ｐ１）に相当する額）

○変更請求概算額が減額の場合（税込）

　　　　　　　　　＝　　ｐ２　　－　　ｐ１　　＋（　　ｐ１　　×１／１００）

　　　　　　　　　＝　　　　　　－　　　　　　＋（　　　　　　×１／１００）

　　　　　　　　　＝　　　　　　－

　　　　　　　　　＝

　ｐ１: 変動前残工事金額（税込）

　　　（請負代金額から基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額）

　ｐ２：変動後残工事金額（税込）

　　　（変動後(基準日)の賃金又は物価等を基礎として算出した（ｐ１）に相当する額）

※出来高率、出来高金額、変動前残工事金額及び変動後残工事金額については、概算とする。ただし、精査の結果これらを変更することがある。

様式２(発注者→受注者)

　　○○第　○○○○　号

　○○年○○月○○日

スライド額協議開始日等通知書

会社名　　□□□建設㈱

氏　名　　代表取締役　□□　○○　様

発注者　　　　　　　　　　　　印

○○年○月○○日付けで請求のあった下記工事の埼玉県建設工事標準請負契約約款(以下「契約約款」という。)第２６条第６項の規定に基づく請負代金額の変更については、契約約款第２６条第８項の規定により基準日及びスライド額協議開始日を下記のとおり定めたので通知します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 基準日 | 　　○○年○○月○○日 |
| スライド額協議開始日 | 　　○○年○○月○○日 |
| スライド額協議開始日から１４日以内に協議が整わない場合は、契約約款第２６条第７項の規定に基づき発注者が定め受注者に通知します。 |
|  |
| 工 事 名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 　主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 工　　期 | 　　　○○年○○月○○日　から　　○○年○○月○○日　まで |
| 請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |

様式３－１(発注者→受注者)　協議書　スライド変更金額がある場合

　○○第　○○○○　号

　○○年○○月○○日

請負代金額変更協議書

会社名　　□□□建設㈱

氏　名　　代表取締役　□□　○○　様

　発注者　　　　　　　　　　　　印

○○年○月○○日付けで請求のあった下記工事の埼玉県建設工事標準請負契約約款(以下「契約約款」という。)第２６条第６項の規定に基づく請負代金額の変更額については、契約約款第２６条第７項の規定により下記のとおり協議します。

この協議に基づく請負代金額の増額分については、下請企業との契約金額の見直しなど適切な対応をお願いします。(減額スライドの場合、赤字部分は記述しない。)

なお異存がなければ、別紙「承諾書(様式5-1)」に記名したものをお返しください。

記

|  |  |
| --- | --- |
| スライド額 | (増又は減) 金　○, ○○○, ○○○円　 |
| うち取引に係る消費税及び地方消費税の額金　○○○, ○○○円 |
| 基準日 | 　　○○年○○月○○日 |
| スライド額の内訳 | 別紙「スライド額内訳書」のとおり |
|  |
| 工 事 名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 　主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 工　　期 | 　　　○○年○○月○○日　から　　○○年○○月○○日　まで |
| 請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |

様式３－２(発注者→受注者)　１４日以内に協議が整わなかった場合の通知書

スライド変更金額がある場合

　○○第　○○○○　号

　○○年○○月○○日

請負代金額変更通知書

会社名　　□□□建設㈱

氏　名　　代表取締役　□□　○○　様

　発注者　　　　　　　　　　　　印

○○年○月○○日付けで請求のあった下記工事の埼玉県建設工事標準請負契約約款(以下「契約約款」という。)第２６条第６項の規定に基づく請負代金額の変更額については、契約約款第２６条第７項の規定により下記のとおり通知します。

この通知に基づく請負代金額の増額分については、下請企業との契約金額の見直しなど適切な対応をお願いします。(減額スライドの場合、赤字部分は記述しない。)

なお別紙「承諾書(様式5-1)」に記名したものをお返しください。

記

|  |  |
| --- | --- |
| スライド額 | (増又は減) 金　○, ○○○, ○○○円　 |
| うち取引に係る消費税及び地方消費税の額金　○○○, ○○○円 |
| 基準日 | 　　○○年○○月○○日 |
| スライド額の内訳 | 別紙「スライド額内訳書」のとおり |
|  |
| 工 事 名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 　主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 工　　期 | 　　　○○年○○月○○日　から　　○○年○○月○○日　まで |
| 請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |

様式４－１(発注者→受注者)　協議書　スライド変更金額がない場合

　○○第　○○○○　号

　○○年○○月○○日

会社名　　□□□建設㈱

氏　名　　代表取締役　□□　○○　様

　発注者　　　　　　　　　　　　印

請負代金額の変更について(協議)

○○年○月○○日付けで請求のあった下記工事の埼玉県建設工事標準請負契約約款(以下「契約約款」という。)第２６条第６項の規定に基づく請負代金額の変更額については、契約約款第２６条第７項の規定により下記のとおり協議します。

なお異存がなければ、別紙「承諾書(様式5-2)」に記名したものをお返しください。

記

|  |  |
| --- | --- |
| スライド額 | 増減なし |
| 【理由】　下記の基準日でスライド金額を計算した結果、埼玉県建設工事標準請負契約約款第26条第６項（インフレスライド条項）の運用に関する基準の１(1)イに規定された1/100を超える額がないため。別紙「スライド額内訳書」のとおり。 |
| 基準日 | 　　○○年○○月○○日 |
|  |
| 工 事 名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 　主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 工　　期 | 　　　○○年○○月○○日　から　　○○年○○月○○日　まで |
| 請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |

※　スライド額内訳書を添付すること。

様式４－２(発注者→受注者)　 １４日以内に協議が整わなかった場合の通知書

スライド変更金額がない場合

　○○第　○○○○　号

　○○年○○月○○日

会社名　　□□□建設㈱

氏　名　　代表取締役　□□　○○　様

　発注者　　　　　　　　　　　　印

請負代金額の変更について(通知)

○○年○月○○日付けで請求のあった下記工事の埼玉県建設工事標準請負契約約款(以下「契約約款」という。)第２６条第６項の規定に基づく請負代金額の変更額については、契約約款第２６条第７項の規定により下記のとおり通知します。

なお別紙「承諾書(様式5-2)」に記名したものをお返しください。

記

|  |  |
| --- | --- |
| スライド額 | 増減なし |
| 【理由】下記の基準日でスライド金額を計算した結果、埼玉県建設工事標準請負契約約款第26条第６項（インフレスライド条項）の運用に関する基準の１(1)イに規定された1/100を超える額がないため。別紙「スライド額内訳書」のとおり |
| 基準日 | ○○年○○月○○日 |
|  |
| 工 事 名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 　主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 工　　期 | 　　　○○年○○月○○日　から　　○○年○○月○○日　まで |
| 請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |

※　スライド額内訳書を添付すること。

様式５－１　(受注者→発注者)　承諾書その1　　請負代金額の変更がある場合

　○○年○○月○○日

承諾書

(宛先)

　発注者

 受注者

発注者からの文書(協議又は通知)に応じて、どちらかを消す。

　住　所　　○○市○○○－○

　会社名　　□□□建設㈱

　氏　名　　代表取締役　□□　○○

○○年○月○○日付け○○第○○○○号で、協議／通知のありました下記工事については、埼玉県建設工事標準請負契約約款第２６条第６項の規定に基づくスライド額に異存がありません。

なお、請負代金額の増額分については、下請企業との契約金額の見直しなど適切な対応を行います。(減額スライドの場合、赤字部分は記述しない。)

記

|  |  |
| --- | --- |
| スライド額 | (増又は減) 金　○, ○○○, ○○○円　 |
| うち取引に係る消費税及び地方消費税の額金　○○○, ○○○円 |
| 基準日 | 　　○○年○○月○○日 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 工 事 名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 　主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 工　　期 | 　　　○○年○○月○○日　から　　○○年○○月○○日　まで |
| 請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |

様式５－２　(受注者→発注者)　承諾書その２　　請負代金額の変更がない場合

　○○年○○月○○日

承諾書

(宛先)

　発注者

 受注者

発注者からの文書(協議又は通知)に応じて、どちらかを消す。

　住　所　　○○市○○○－○

　会社名　　□□□建設㈱

　氏　名　　代表取締役　□□　○○

○○年○月○○日付け○○第○○○○号で、協議／通知のありました下記工事については、埼玉県建設工事標準請負契約約款(以下「契約約款」という。)第２６条第６項の規定に基づくスライド額に異存がありません。

記

|  |  |
| --- | --- |
| スライド額 | 増減なし |
| 【理由】下記の基準日でスライド金額を計算した結果、埼玉県建設工事標準請負契約約款第26条第６項（インフレスライド条項）の運用に関する基準の１(1)イに規定された1/100を超える額がないため。別紙「スライド額内訳書」のとおり |
| 基準日 | 　　○○年○○月○○日 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 工 事 名 | ○○○○□□□金(○○○)工事(○○○その１) |
| 工事場所 | 　主要地方道○○□□線／○○市□□地内 |
| 工　　期 | 　　　○○年○○月○○日　から　　○○年○○月○○日　まで |
| 請負代金額 | 　金　○○○, ○○○, ○○○円 |

別紙　スライド額内訳書

